

ご利用の前に・・・

- 記録メディア(SDカード・USB) は各本体でのフォーマットが必要です。
※フォーマット方法はマニュアルを参照してください。
- PCはすべて再起動またはシャットダウンすると自動でデータが消去されますので、作業中のデータは必ずご自身の OneDriveか記録メディアに保存してください。
- 機器に関するお問い合わせ、故障、破損、紛失の報告、動画撮影編集に関する相談、その他予約に関する相談等は、以下Formsよりご連絡ください。

(本学のMicrosoft365アカウントへのログインが必要です)

<https://forms.office.com/r/bSiz8SGwwe>



※電話、メールでの対応は致しかねます。

※動画作成に関するお問い合わせ、ご相談は5営業日以内の回答となります。

3号館スタジオマニュアル目次

1 スタジオ機器について ページ

1-1 スタジオ機器の起動方法 1

1-2 オペレーター卓の機器について 2

1-3 カメラ②のコントローラー操作について 3

2 AVミキサーの操作方法

2-1 AVスイッチャーの主な機能 2

2-2 入力画像の選択(ビデオスイッチャーの操作) 4

2-3 AVミキサーのSDカードに動画を収録する方法 4

2-4 USBに保存した動画を出力する方法 5

2-5 持込音源を登録し出力する方法 6

2-6 ピクチャーインピクチャーで複数の画像を重ねて表示する方法 7

2-7 AVミキサーを使ってクロマキー合成する方法 8-9

2-8 配信用PCでZoomを立ち上げ撮影動画をライブ配信する方法 10

3 4Kカメラを使った撮影と編集方法

3-1 カメラで撮影し、SDカードに記録する方法 11

3-2 編集ソフト (Adobe Premiere Pro) で背景を合成する方法 12

4 付属資料

4-1 AVミキサー各ボタン説明詳細 13-15

4-2 カメラ用記録メディア(USB/SDカード) について 16

4-3 記録メディア(USB/SDカード)のフォーマット方法 17-18

スタジオ機器の起動方法

※撮影スタイルにより、必要な機器を起動させてください



① AVラックの「主電源」を入れる

- ワイヤレスピンマイク
- AVミキサー
- オペレーター卓上モニター2台
- カメラ2（リモートコントロール可能）が起動します。



※青いボタンを押しながらスライド

② カメラ①の電源を入れる



③ 左右のライトの電源を入れる

電源ボタンを押すと点きます。
電源ボタンを回すことで明るさの調整が可能です。



④ ディスプレイの電源を入れる

※ リモコンを画面の右下、受光部に向けて操作してください



⑤ 資料投影用PCを起動させる (カメラ画像に合成する画像などがある場合)

※ 下記のいずれかの方法で資料投影を行ってください

- 資料投影用PCに資料データのUSBを接続する
- AVミキサーの予備HDMIで持込端末を接続する
- AVミキサー前面のUSB HOSTにUSBを接続する
(AVミキサーを使用した資料の出力方法は、5ページを参照)

※Bluetooth接続で音声を入力することも可能です
※SDIケーブルの予備はありません。

1-2 オペレーター卓の機器について

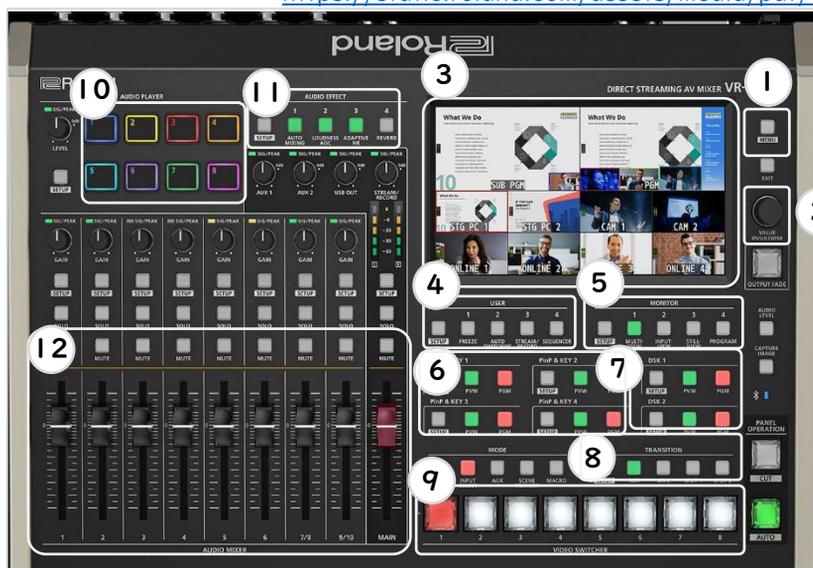


2-1 AVミキサーの主な機能

※ 各ボタンの詳細は、後記を参照してください

※ AVミキサーマニュアル

https://static.roland.com/assets/media/pdf/VR-I20HD_Reference_jpn04_W.pdf



- 1 **メニュー**
設定メニューが表示されます
- 2 **バリュー**
メニュー項目の選択、設定値の微調整ができます。押しと設定を決定します
- 3 **タッチパネル**
画面をタッチして、設定の変更、内容確認ができます
- 4 **ユーザー**
画面の自動切り替え、配信や録画をする際に使用します
- 5 **モニター**
モニター画面の切り替えをします
- 6 **ピクチャーインピクチャー**
画像に、別の画像を組み込み合成する際に使います
- 7 **DSK (ダウンストリームキー)**
クロマキー合成などの際に使用します
- 8 **トランジション**
画像の切り替え、構成を変更するスイッチ

- 9 **ビデオスイッチャー**
配信・録画したい画面の切り替えスイッチ
- 10 **オーディオプレーヤー (効果音/持ち込み音声再生)**
合成したい音声の再生をする。1～8に拍手などの効果音がセットされています。持ち込みの音楽などを入力することもできます。
- 11 **オーディオエフェクト**
音声や効果音のON/OFFをする。AUTO MIXINGをONにして使用してください
- 12 **オーディオミキサー**
個々のマイクと、合成した音声の音量を調整、ミュートができます

プリセット番号

設定されたプリセットを呼び出したい場合は左上の「VIEW」が選択されていることを確認し、各番号を押してください。

コントロールレバー

上下左右に動かす



ズームレバー

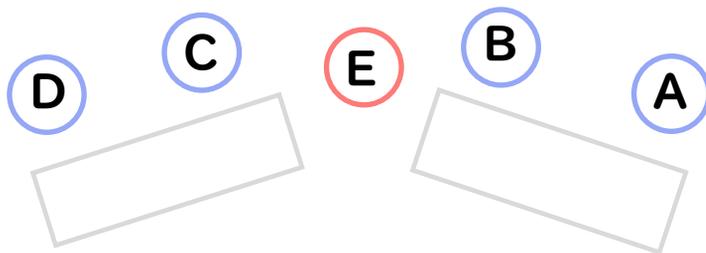
広く⇔狭く

カメラ選択

「1」を選択してください

フォーカス調整

ワンプッシュで自動で焦点を調整します。手動で調整することも可能です。



※ 机の位置、カメラの角度など適宜微調整をしてください

| プリセット番号 | 画角 |
|---------|------------|
| 1 | 全景 (ABCDE) |
| 2 | 右側2席 (AB) |
| 3 | 左側2席 (CD) |
| 4 | Aのみ |
| 5 | Bのみ |
| 6 | Cのみ |
| 7 | Dのみ |
| 8 | E中央 |
| 9 | E上半身のみ |
| 10 | E右寄り全身 |

2-2

入力画像の選択（ビデオスイッチャーの操作）

モニター②画面



ビデオスイッチャーボタン

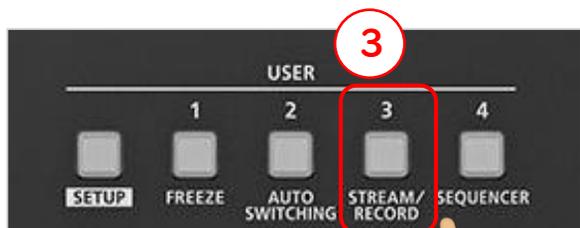


①～⑧の入力画面はデフォルトで以下のように設定しています。

| 小画面 NO | 投影映像 | 接続法 |
|--------|-----------|--------|
| ① | カメラ（固定） | SDI 1 |
| ② | カメラ（リモート） | SDI 2 |
| ③ | 資料投影PC画面 | HDMI 1 |
| ④ | 持込端末画面 | HDMI 2 |
| ⑤ | 持込動画再生画面 | USB/SD |
| ⑥ | 静止画（背景） | USB/SD |
| ⑦ | 静止画（背景） | USB/SD |
| ⑧ | 静止画（背景） | USB/SD |

2-3

AVミキサーのSDカードに動画を収録する方法



① 出力映像「PGM」画面に録画する動画を表示します

1. ビデオスイッチャーで画像を選択する
2. クロマキーやピクチャーインピクチャーなどの合成をして出力する画像を決める
3. BGMなど音源を合成して撮影する(任意)場合は、AUDIO PLAYERで選択する

② SDカードをAVミキサーに挿入します

※SDカードは事前にフォーマットが必要です

③ USER「STREAM/RECORD」ボタンを押す

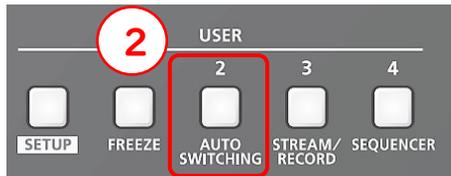
④ 「OK」ボタンを押すと録画が始まります

点灯（赤）している間は収録が行われています。停止の際は再度スイッチを押すと消灯し収録がストップします。

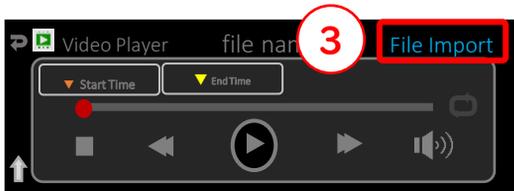


- ① AVミキサーの「USB HOST」に資料データの
のったUSBを接続する

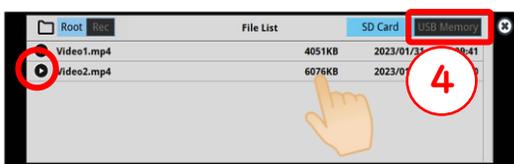
または、投影用PCにUSBを差し込み資料を提示し、
⑥の手順でビデオスイッチャーの③を選択し出力す
ることも可能です。



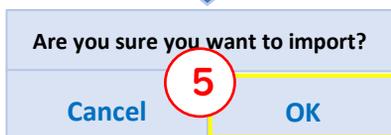
- ② [USER] エリアの「AUTO SWITCHING」
ボタンを押す



- ③ ミキサーモニター画面に表示される
【Video Player】画面で「File Import」
ボタンをタッチ



- ④ 画面右上の「USB Memory」をタッチする
※SDカードの場合は「SD Card」を選択してください
・表示されたビデオデータから、読み込みたい動画を選択
※ リスト左の (▶) をタッチすると視聴できます



- ⑤ 「OK」を選択する



- ⑥ ビデオスイッチャーボタンの⑤を選択する
選択した動画がモニターの「Video Player」に再生
されます

2-5

持込み音源を登録し出力する方法



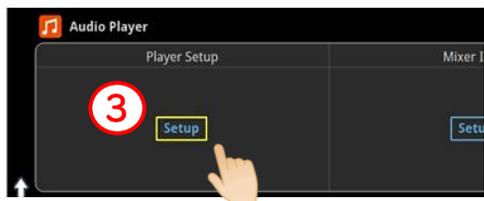
- ① USB HOSTに音源データのあったUSBを接続する。

ポイント

wavファイル形式でUSBに保存してください。
mp3、4データはwav形式に変換してください



- ② AUDIO PLAYER【SET UP】を押す



- ③ タッチパネルの【Player Setup】画面の「Setup」をタッチする



- ④ タッチパネル画面を【BANK B】に切り替え音源を記録するボタンを選択する

【BANK A】は効果音が登録されています。
持ち込みの音源は【BANK B】のボタンを使用してください。音源は上書きされます



- ⑤ タッチパネルの「Import」の「Enter」をタッチする

ポイント

「Level」で音量を-20dB程度に下げたから「Enter」を押してください

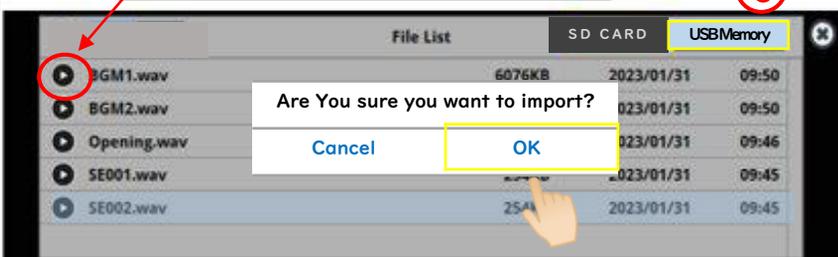
- ⑥ 「USB Memory」に切り替え、リストから登録したいデータを選び、「OK」をタッチ

登録したパッドを押すと再生され、ヘッドフォンで確認できます。



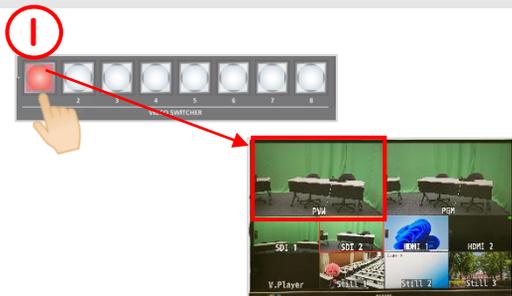
6

▶ をタッチすると、試聴できます



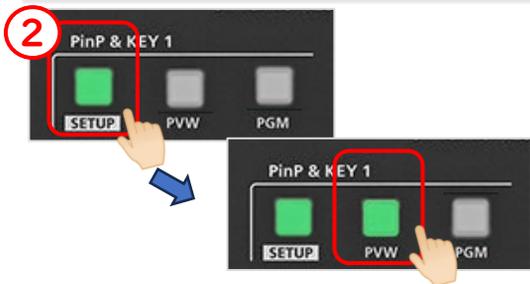
2-6

ピクチャーインピクチャーで複数の画像を重ねて表示する方法



① 背景にする画像を選択する

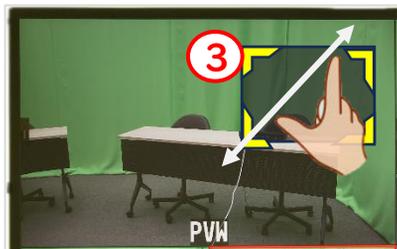
出力モニターのPVW画面に選択した画像が投影されます



② PinP&KEY 1の「SET UP」ボタン→「PVW」ボタンの順番に押す

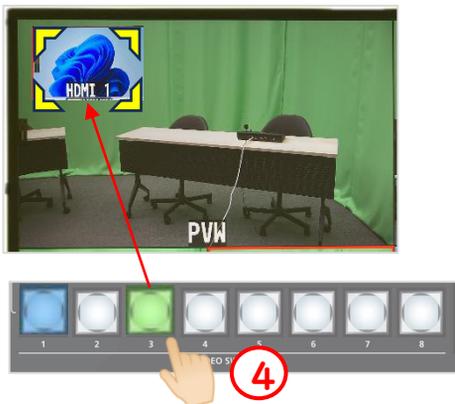
※⑤のPGMボタンを押すまで配信先に合成映像は送られません。

※ KEY2,3,4を同様に操作すると、1画面に最大で4つの子画面を表示させることができます。



③ タッチパネルに現れた子画面の場所や大きさを、指で調整する

出力モニターのPVW画面に選択した画像が投影されます



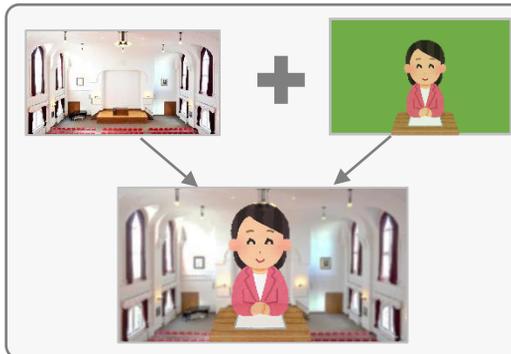
④ 子画面に出力する画像を選択する

ビデオスイッチャーボタンで表示する画像を選択する



⑤ KEY 1の「PGM」ボタンを押して、合成画像を出力（配信・収録）する

2-7 AVミキサーを使ってクロマキー合成する方法



- ・背景と同じ**緑色の服装は避けて**ください
- ・クロマキーカーテンに**シワ**ができないように整えてください
- ・ライトはできるだけ被写体の**近くで**、両サイド上方から均一に当てる位置に移動させてください



① VIDEO SWITCHERの6～8番から背景にする画像を選ぶ

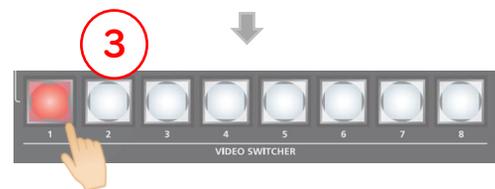


他の画像を選びたいときは・・・

1. MONITORの「STILL-VIEW」ボタンを押す
2. 表示されたミキサーの画面をタッチして別の背景画像を選択することもできます



② DSK 1の「SET UP」⇒「PVW」の順にボタンを押す



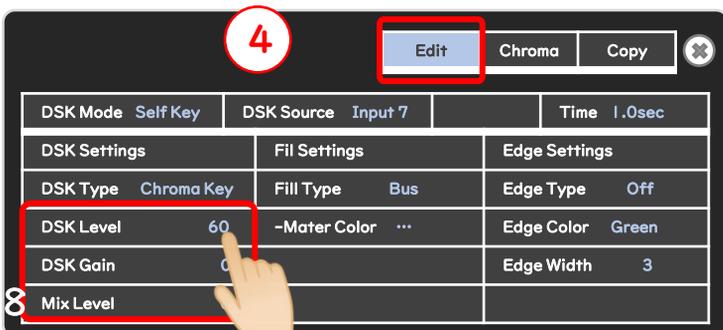
③ VIDEO SWITCHERのボタンで、背景に重ねるカメラ画像を選択する

この時点では、重ねた画像が見えない場合があります。

ポイント

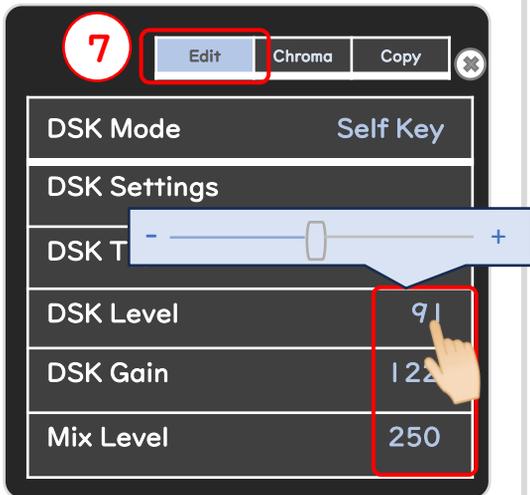
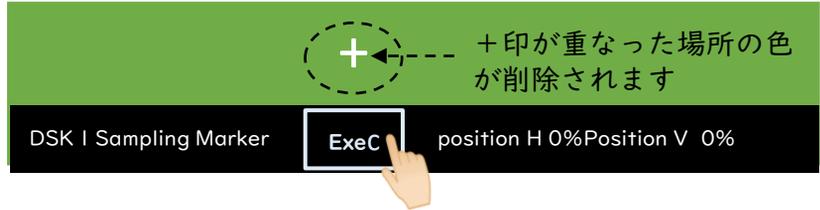
④ 「Edit」画面の「DSK Level」のみ**50～60**に設定し、**残りは0**に設定する

⑤ 画面を「Chrome」に切り替え、同様に**0**に設定する





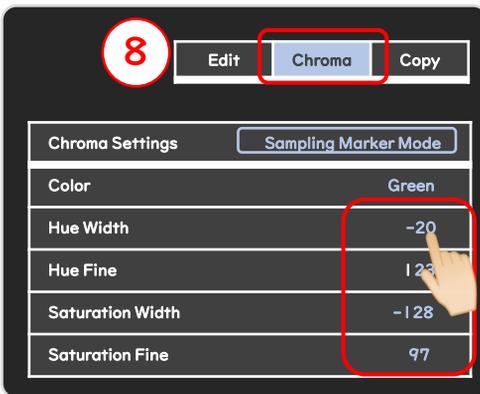
- ⑥ 「Chome」画面の **Sampling Marker Mode** をタッチし、重ねた画像から、削除したい色のサンプル色を指定する（「EXECT」をタッチ）



- ⑦ 「Edit」画面で合成の調整をする

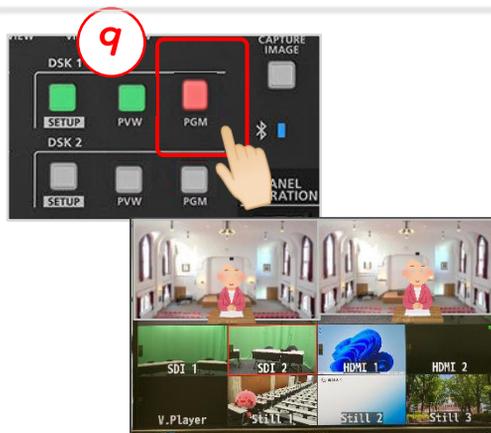
数字をタッチすると、レベル調整のバーが表示されます。
右側のVALUEダイヤルでも調整できます

DSK Level ... 合成レベル、透過度合の調整
DSK Gain ... ぼかし具合、彩度の調整
Mix Level ... 画像の混合度合い、全体濃度



- ⑧ 「Chrome」画面に切替え調整をする

Hub Width ... 背景と被写体との距離
Hub Fine ... 被写体との境界線
Saturation Width ... 透過させる色の彩度の範囲
サンプル色 - + サンプル色に近い
Saturation Fine ... サンプル色と被写体との彩度調整
サンプルの緑に近い服などの時に微調整する



- ⑨ DSK 1の「PGM」ボタンを押して、合成画像を出力する

※背景画像や出演者の服装などにより綺麗に画像が抜けない場合はグリーンバックで撮影し、編集で背景画像を簡易に合成することが可能です。

2-8

配信用PCでZoomを立ち上げ、 撮影動画をライブ配信する方法

※配信先の映像は「PGM」画面に表示されているものとなります



※ 常設の配信用PCに接続されています。ご自身のPCを使用して配信する場合は、USBケーブルを差し替えてください。

USBケーブル



① Zoomのオーディオ設定を確認する

- ・ マイク 横の ^ をクリックし、マイクとスピーカーの設定を確認してください

マイク …… 規定Audio IN (Roland VR-120HD)
 スピーカー …… 規定Audio OUT (Roland VR-120HD)

※ 表示が出ない場合は、AVミキサー背後「USB STREAM」接続のUSBケーブルがPCと接続されているか確認してください



② Zoomのビデオ設定を確認する

ポイント

- ・ ビデオ 横の ^ をクリックし、「ビデオ設定」を開く
- ・ 「カメラ」が Roland VR-120HD であることを確認する
- ・ 「元の比率」 「HD」 にチェック を入れる
- ・ 「マイビデオをミラーリング」のチェック を外す

③ 任意の番号

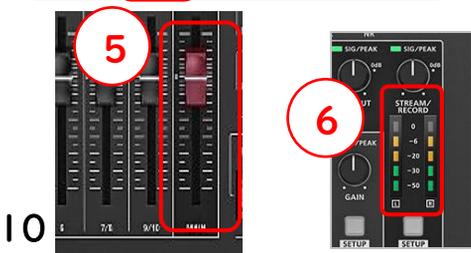


③ ビデオスイッチャーで配信したい画像を選択する

- ・ ビデオスイッチャーで、Zoomのカメラ画像として反映させたい画像を選択してください



④ AUDIO EFFECTの「AUTO MIXING」をON(緑)にする



⑤ AUDIO MIXERで使用するマイクや「MAIN」のボリュームを調整する

橙色が適正な音量です。
橙色表示を目安にボリュームを調整します

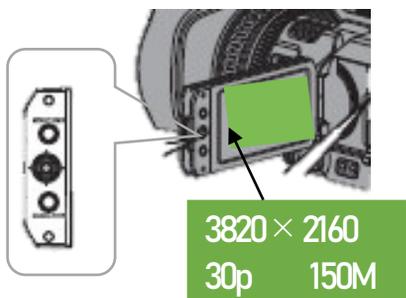
3-1 | カメラで撮影し、SDカードに記録する方法



- ① SDカードカバーをスライドさせ、切りかけ部を上にして、SDカードをセットする



事前にSDカードのフォーマットが必要です！
マニュアル17ページの「記録メディア（USB/SDカード）のフォーマット方法」を参照してください



- ② 解像度は、
4K 3820×2160p
ビットレート150Mに設定しています



SDカードの容量によって記録時間が変わります。
マニュアル〇ページの「記録メディア（SDカード・USB）について」を参照しご自身のSDカードの記録可能時間から、必要に応じて解像度等を変更してください

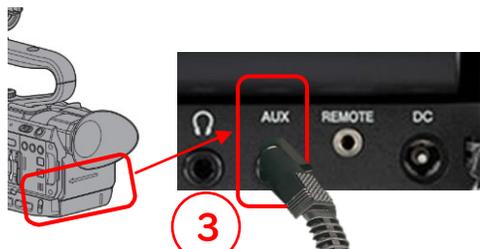
[MENU/THUMB]

十字ボタン
(▲▼◀▶)



解像度を変更する方法

1. [MENU/THUMB] ボタンを押す
 2. 十字ボタンでリストの最後「システム」を選択
 3. 「記録設定」「記録フォーマット」で変更してください
- ※ 変更後はデフォルト値に戻してください



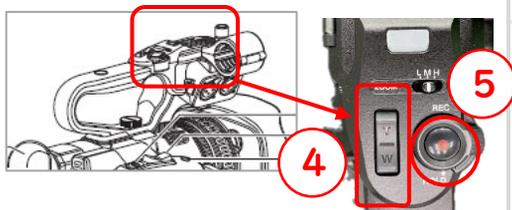
- ③ 音声ケーブルをAVミキサーと接続する
4Kカメラ・・・「AUX」
AVミキサー・・・【AUDIO OUT】の「3L/3R」
に接続してください



- ④ ハンドルズームレバーで、切り取りたい画角を調整する
※ オートフォーカスに設定しています



編集ソフトでトリミングで切り取ることができ
ます。画角は絞らずに広めに撮影してください



- ⑤ 「REC」ボタンを押す

撮影を終了するときは、もう一度「REC」
ボタンを押してください。

3-2 編集ソフト (Adobe Premiere Pro) で背景を合成する方法



① 編集用PCにデータを記録したSDカードやUSBを挿入する

以下のようなコンテンツ動画を編集します

- カメラに装着した記録メディアに保存した動画
- AVミキサーに装着した記録メディアに保存した動画
- スタジオ外で撮影した持込動画

スタジオ機器を使用した撮影と記録方法は「カメラ1のみで撮影し、SDカードに記録する方法」を参照してください。



② 編集用PCのデスクトップ上に仮の保存用フォルダを作成し、データを一時保存する

その日の作業用の一時保存用です。
作業終了後は記録メディアに保存しなおしてください。

注意

編集用PCへのデータ保存はできません。
再起動、シャットダウンするとデータは自動的に消去されます!!
必ず、作業中のデータはご自身のOneDriveやSDカード・USBなどに保存してください。



③ タスクバーの、「Adobe Premiere Pro」を起動させる

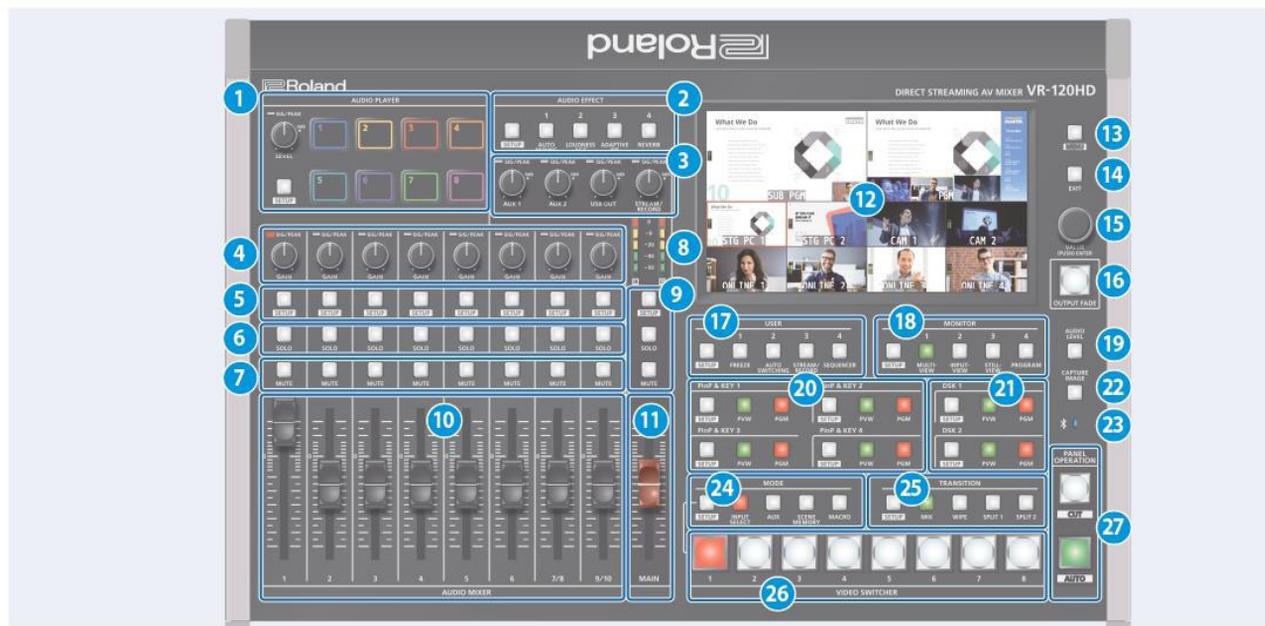
④ 「Adobe Premiere Pro」のクロマキー合成の方法は、こちらの動画を参照してください



https://seikei.sharepoint.com/:v/s/msteams_26ba4a/EZnK2hB6EopPsXikxujLfgoBszKwjqNMYQjpmIO8PCqMfA?e=5lGKA

各ボタンの説明

トップ・パネル



1 AUDIO PLAYER

パッドにBGMや効果音などの音源ソースを割り当てて、再生します。

※音源ソースにはUSBメモリーやSDカードにあるオーディオ・ファイル(WAV)を使います。

[LEVEL] つまみ

音源ソースの再生音量を調節します。

SIG/PEAK インジケーター

音声の出力を感知すると点灯します。

| | |
|-----|---------------------|
| 赤点灯 | 音量が過大 (0dB 以上) |
| 黄点灯 | 適正な音量 (-20 ~ -1dB) |
| 緑点灯 | 音量が過小 (-50 ~ -21dB) |

[SETUP] ボタン

セットアップ画面をディスプレイに表示します。

パッド [1] ~ [8]

パッドを押すと、割り当てられている音源ソースを再生します。

2 AUDIO EFFECT

[1] ~ [4] ボタン

オーディオ・エフェクトをオン/オフします。各ボタンに別の機能を割り当てることもできます。

[SETUP] ボタン

セットアップ画面をディスプレイに表示します。

3 [AUX 1]、[AUX 2] つまみ

AUX バス出力の音量を調節します。

[USB OUT] つまみ

USB 出力の音量を調節します。

[STREAM/RECORD] つまみ

配信や録画の音量を調節します。

SIG/PEAK インジケーター

音声の出力を感知すると点灯します。

| | |
|-----|---------------------|
| 赤点灯 | 音量が過大 (0dB 以上) |
| 黄点灯 | 適正な音量 (-20 ~ -1dB) |
| 緑点灯 | 音量が過小 (-50 ~ -21dB) |

4 [GAIN] つまみ

AUDIO IN 1 ~ 9/10 端子から入力される音声のゲイン (感度) を調節します。

SIG/PEAK インジケーター

音声の入力を感知すると点灯します。

| | |
|-----|---------------------|
| 赤点灯 | 音量が過大 (0dB 以上) |
| 黄点灯 | 適正な音量 (-20 ~ -1dB) |
| 緑点灯 | 音量が過小 (-50 ~ -21dB) |

5 [SETUP] ボタン

セットアップ画面をディスプレイに表示します。

6 [SOLO] ボタン

ボタンを押して選んだ入力チャンネルの音声だけを出力します。オン (点灯) にすると、フェーダー調節前の音声をヘッドホンで確認することができます。

7 [MUTE] ボタン

ボタンを押して選んだ入力チャンネルの音声を、ミュート (消音) します。

8 レベル・メーター

メイン出力の音量を表示します。

9 [SETUP] ボタン、[SOLO] ボタン、[MUTE] ボタン

メイン出力用のボタンです。

各ボタンの説明

- 10 [1] ~ [9/10] フェーダー**
各チャンネルの入力音量を調節します。
- 11 [MAIN] フェーダー**
出力音量を調節します。
- 12 ディスプレイ (タッチパネル)**
入出力映像や配信/録画の状態、パラメーターやメニューを表示します。
- 13 [MENU] ボタン**
メニューの表示/非表示を切り替えます。
- 14 [EXIT] ボタン**
メニューの階層を抜けたり、操作をキャンセルしたりします。
- 15 [VALUE/CURSOR] つまみ**

| | |
|----|--------------------------|
| 回す | メニュー項目の選択や設定値の変更をします。 |
| 押す | 選んだメニュー項目や変更した設定値を決定します。 |

- 16 [OUTPUT FADE] ボタン**
最終出力映像と音声をフェード・イン/アウトします。

| | |
|----|--------------|
| 点灯 | フェード・アウト完了 |
| 点滅 | フェード・イン/アウト中 |
| 消灯 | 通常の出力 |

※ 上記は、工場出荷時の設定です。[OUTPUT FADE] ボタンに、別の機能を割り当てることもできます。

- 17 USER**
[1] ~ [4] ボタン
あらかじめ割り当てられている機能を実行します。
工場出荷時は、以下の機能が割り当てられています。

| ボタン | 説明 |
|----------|---|
| USER [1] | FREEZE フリーズ機能 (入力映像の静止) をオン/オフします。 |
| USER [2] | AUTO SWITCHING オート・スイッチング機能 (映像の自動切り替え) をオン/オフします。 |
| USER [3] | STREAM/RECORD STREAM/RECORD のセットアップ画面をディスプレイに表示します。 |
| USER [4] | SEQUENCER シーケンサー機能をオン/オフします。 |

[SETUP] ボタン
セットアップ画面をディスプレイに表示します。

- 18 MONITOR**
[1] ~ [4] ボタン
本体モニターでモニタリングする映像を切り替えます。

| ボタン | 説明 |
|-------------|---|
| MONITOR [1] | MULTI-VIEW 最終出力映像、プレビュー出力映像、VIDEO SWITCHER [1] ~ [8] ボタンに割り当てられている映像を分割表示します。 |
| MONITOR [2] | INPUT-VIEW HDMI IN 端子と SDI IN 端子などの入力映像を 16 分割画面で表示します。 |

| ボタン | 説明 |
|-------------|---|
| MONITOR [3] | STILL-VIEW 読み込んだ静止画を 16 分割画面で表示します。 |
| MONITOR [4] | PROGRAM 最終出力映像を表示します |

※ 上記は、工場出荷時の設定です。各ボタンに、別の機能を割り当てることもできます。

[SETUP] ボタン
セットアップ画面をディスプレイに表示します。

- 19 [AUDIO LEVEL] ボタン**
オーディオ・レベル画面をディスプレイに表示します。

- 20 PinP & KEY 1 ~ 4**
PinP & KEY 1 ~ 4 レイヤーを使って、ピクチャーインピクチャー (PinP) による映像合成をします。

[SETUP] ボタン
セットアップ画面をディスプレイに表示します。

[PVW] ボタン
子画面のプレビュー出力をオン/オフします。

[PGM] ボタン
PinP 合成をオン/オフします。

- 21 DSK 1、2**
DSK 1、2 レイヤーを使って、ダウンストリーム・キーヤー (DSK) による映像合成をします。

[SETUP] ボタン
セットアップ画面をディスプレイに表示します。

[PVW] ボタン
DSK 合成結果のプレビュー出力をオン/オフします。

[PGM] ボタン
DSK 合成をオン/オフします。

- 22 [CAPTURE IMAGE] ボタン**
静止画キャプチャー・モードをオン/オフします。

- 23 (Bluetooth®) インジケーター**
Bluetooth 接続の状態を示します。

| | |
|------|----------------|
| 点灯 | 接続済み |
| 消灯 | Bluetooth 機能オフ |
| 速い点滅 | ペアリング中 |
| 点滅 | 接続待ち |

Bluetooth 対応のオーディオ機器から音声を入力したり、パソコンや iPad から専用ソフトウェアを使って、VR-120HD をリモートコントロールしたりすることができます。

各ボタンの説明

24 MODE

ボタンを押して選んだモードによって、VIDEO SWITCHER [1] ~ [8] ボタンの役割が変わります。

[SETUP] ボタン

セットアップ画面をディスプレイに表示します。

[INPUT SELECT] ボタン

PGM バスまたは PVW バスに送る映像ソースを VIDEO SWITCHER [1] ~ [8] ボタンで選びます。

[AUX] ボタン

AUX バスに送る映像を VIDEO SWITCHER [1] ~ [8] ボタンで選びます。

[SCENE MEMORY] ボタン

シーン・メモリー（映像や音声などの設定を登録したものを VIDEO SWITCHER [1] ~ [8] ボタンで呼び出します。VIDEO SWITCHER [1] ~ [8] ボタンを長押しすると、現在の設定をシーン・メモリーに登録します。

[MACRO] ボタン

VIDEO SWITCHER [1] ~ [8] ボタンで、マクロ（記録した一連の操作）を実行します。

25 TRANSITION

映像の切り替え効果を選びます。

[SETUP] ボタン

セットアップ画面をディスプレイに表示します。

[MIX] ボタン

2つの映像が混ざり合いながら切り替わります。

[WIPE] ボタン

元の映像に次の映像が割り込んでくる形で切り替わります。

[SPLIT 1] ボタン、[SPLIT 2] ボタン

画面を左右／上下に分割にして2つの映像を合成します。

26 VIDEO SWITCHER [1] ~ [8] ボタン

選ばれているモードやによって、ボタンの役割が変わります。

27 PANEL OPERATION

[CUT] ボタン、[AUTO] ボタン

操作モードに応じて、映像を切り替えるときの動作を決めたり、映像を切り替えたりします。

映像の切り替えには、「Dissolve」と「PGM/PST」の2つの操作モードがあります。

| 操作モード | 説明 | | | | | | |
|------------------------|--|---------|-----------|-----------|---------------------------------------|------------|---|
| Dissolve (工場出荷時の設定) | 出力したい映像を選び、PGMバスへ即座に出力するモードです。 [CUT] ボタン、または [AUTO] ボタンを押して、映像を切り替えるときの動作を選びます。(押したボタンが緑点灯) | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作するボタン</th> <th>操作したときの動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[CUT] ボタン</td> <td>[CUT] ボタンが緑点灯しているとき 瞬時に映像が切り替わります。</td> </tr> <tr> <td>[AUTO] ボタン</td> <td>[AUTO] ボタンが緑点灯しているとき 切り替え(トランジション)効果が かかり、自動的に映像が切り替わります。</td> </tr> </tbody> </table> | 操作するボタン | 操作したときの動作 | [CUT] ボタン | [CUT] ボタンが緑点灯しているとき 瞬時に映像が切り替わります。 | [AUTO] ボタン | [AUTO] ボタンが緑点灯しているとき 切り替え(トランジション)効果が かかり、自動的に映像が切り替わります。 |
| 操作するボタン | 操作したときの動作 | | | | | | |
| [CUT] ボタン | [CUT] ボタンが緑点灯しているとき 瞬時に映像が切り替わります。 | | | | | | |
| [AUTO] ボタン | [AUTO] ボタンが緑点灯しているとき 切り替え(トランジション)効果が かかり、自動的に映像が切り替わります。 | | | | | | |
| PGM/PST | <p>PVW バスに PST 映像を表示させ、映像を確認してから PGM バスへ出力するモードです。 VIDEO SWITCHER [1] ~ [8] ボタンを押して PST 映像を選ぶと(緑点灯)、PVW バスに内容が表示されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作するボタン</th> <th>操作したときの動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[CUT] ボタン</td> <td>瞬時に映像が切り替わります。</td> </tr> <tr> <td>[AUTO] ボタン</td> <td>切り替え(トランジション)効果が かかり、自動的に映像が切り替わります。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 切り替え効果中は [AUTO] ボタンが赤点滅し、映像が完全に切り替わると消灯します。</p> | 操作するボタン | 操作したときの動作 | [CUT] ボタン | 瞬時に映像が切り替わります。 | [AUTO] ボタン | 切り替え(トランジション)効果が かかり、自動的に映像が切り替わります。 |
| 操作するボタン | 操作したときの動作 | | | | | | |
| [CUT] ボタン | 瞬時に映像が切り替わります。 | | | | | | |
| [AUTO] ボタン | 切り替え(トランジション)効果が かかり、自動的に映像が切り替わります。 | | | | | | |

フロント・パネル



1 PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

2 [PHONES] つまみ

ヘッドホンの音量を調節します。

3 USB HOST 端子

USB メモリーや外付け SSD などの USB ストレージを接続し、本体の設定をバックアップしたり、ストレージ内の素材を本体にインポートしたりします。

また、スマートフォンを接続して、テザリングをすることもできます。

4 SDXC カード・スロット

SD カードを差し込みます。

録画／録音、本体設定のバックアップ、ストレージ内の素材を本体にインポートすることができます。

4-2 カメラ用記録メディア (USB・SDカード) について

★ AVミキサー、カメラ①のデータを保存する記録メディアはご自身で
ご準備ください。

★ 事前に本体でのフォーマットが必要です。パソコンや周辺機器で
フォーマットしたSDカードやUSBは使用できません。

カメラ①で使用できるSDカードについて

① フォーマット設定と使用可能なSDカードの組み合わせ

| システム | 形式 | ビットレート | 使用可能なSDカード |
|------------------|-----------|--------------------------|-------------|
| High-Speed 4K | QuickTime | 50 M (XHQ) 35 M (UHQ) | UHS-I U3 以上 |
| | | 150 M | |
| HD | | 70 M | Class10 以上 |
| | | 50M(YUV422)、 50M(XHQ) | |
| | | 35M(UHQ) | Class6 以上 |
| | AVCHD | - | Class4 以上 |
| SD | - | - | |
| Web | - | - | |

システム : 4Kまたは、HD
形式 : Quick Time
ビットレート: ②の記録時間を目安に
設定してください

※Panasonic,TOSHIBA,SanDisk
以外のカードでは正しく記録されない
場合があります

② SDカードの記録可能時間のめやす

| システム | 4K | | HD | | SD | Web | |
|-----------------|----------|---------|-----------------|-----|---------------|------|------|
| | 2160p | | 1080i/ 1080p | | 480i/ 576i | 960p | 480p |
| ビット レート | 150 M | 70 M | XHQ | UHQ | - | HQ | LP |
| | 4GB | 3 | 6 | 9 | 12 | 47 | 130 |
| 8GB | 6 | 13 | 18 | 25 | 95 | 270 | 580 |
| 16GB | 12 | 26 | 36 | 50 | 190 | 540 | 1160 |
| 32GB | 25 | 52 | 72 | 100 | 380 | 1080 | 2320 |
| 64GB (SDXC) | 50 | 105 | 145 | 200 | 760 | 2160 | 4720 |
| 128GB (SDXC) | 100 | 210 | 290 | 400 | 1520 | 4320 | 9440 |

(単位:分)



SDカードの容量により、
解像度の設定変更をする場合は

「MENU」ボタンを押し
一覧から
「システム」→
「記録設定」→
「記録フォーマット」
を選択し、変更してください

4-3 記録メディア (USB・SDカード) のフォーマット方法

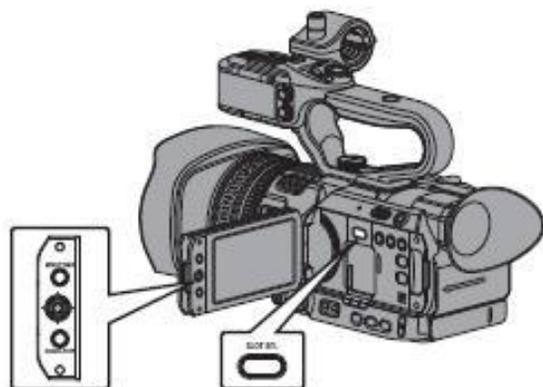
I カメラ用SDカードのフォーマット方法

AVミキサー、カメラ①のデータを保存する記録メディアはご自身で準備ください。

事前に本体でのフォーマットが必要です。パソコンや周辺機器でフォーマットしたSDカードやUSBは使用できません。

使用するSDカードを切り換える

両方のカードスロットにSDカードが挿入されている場合、[SLOT SEL]ボタンで使用するカードを切り換えることができます。記録中のSDカードがいっぱいになったときは、自動的に他方のスロットのSDカードに切り換わります。



メモ:

- 記録中や再生中は[SLOT SEL]ボタンは無効になります。ボタンを押してもスロットは切り換わりません。

SDカードをフォーマット(初期化)する

下記のカードを挿入した場合、メディア残量表示部分に[! FORMAT]と表示されます。本機メニューでフォーマットを行なってください。

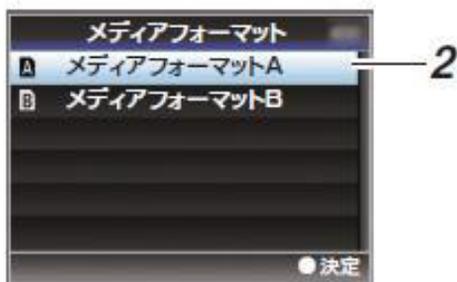
- フォーマットされていないSDカード
- 別の仕様でフォーマットされたSDカード

※ メニュー操作の詳細につきましては、「[メニュー画面での基本操作] (P 88)」をご覧ください。

ご注意:

- SDカードのフォーマットは必ず本機で行なってください。パソコンや周辺機器などでフォーマットしたSDカードは本機で使用できません。
- 修復が必要なSDカードが挿入されている場合、メディア残量表示部分に[! RESTORE]と表示されます。

- 1 [システム] → [メディア] → [メディアフォーマット]を選択する
(P112 [メディアフォーマット])
- 2 フォーマットするSDカードスロットを選択しセットボタン(●)を押す



- 3 選択されたSDカードの状態が表示される
- 4 [フォーマット]を選択しセットボタン(●)を押す



- 5 フォーマットが開始される



4-3 記録メディア (USB・SDカード) のフォーマット方法

II AVモニター用SDカード・USBのフォーマット方法

AVミキサー、カメラ①のデータを保存する記録メディアはご自身で準備ください。

事前に本体でのフォーマットが必要です。パソコンや周辺機器でフォーマットしたSDカードやUSBは使用できません。



① 記録メディアを装着し、「MENU」を押す

② VALUEのつまみを回してリストの下部「SD Card/USB Memory」を選択する

| SD Card/USB Memory | |
|--------------------|------|
| SD Card | |
| -Eject | Exec |
| -Format | Exec |
| -Speed Test | Exec |
| USB Memory | |
| -Eject | Exec |
| -Format | Exec |

③ SD Card、USBいずれか「-Format」を選択する

注意

フォーマットを実行すると、記録されていたデータもすべて削除されます !!



④ 確認を求められるので、「OK」をタッチ

注意
音源や資料などのソースデータを保存する際は、フォルダ内に保存せず、直下に保存してください。「Roland」フォルダに保存すると開けません。

